

令和4年度 創造調和

令和4年11月4日
半田市立半田中学校
第7号
学校だより

歌よありがとう

10月27日（木）、28日（金）に合唱コンクールが行われました。

3年ぶりに全校が体育館に集まって開催できたことは、とても感慨深いものがありました。人が人を想い、その思いを歌に託してクラスが心一つに熱唱する姿は、全校が同じ空間、同じ時間を共有したからこそ、より伝わるのだと感じました。まさに、「歌は未来への架け橋」です。

「歌よありがとう」という歌があります。1番の歌詞を紹介します。

歌は 僕たちの心の中に
友達のようにやさしく いつでもそばにいるよ
時は流れても 心の奥に
いつまでも忘れられない 一つの歌がある
sing a song. sing a song. 歌おう
sing a song. sing a song. 合わせて
sing a song. sing a song. 響け 歌声いつまでも



クラスのみんなど心に合わせて歌った歌は、将来、忘れられない思い出として、心の奥にずっと残っているといいなと思います。音楽には不思議な力があります。一人で音楽を聴いたり、奏でたりすることももちろん楽しいですが、人と人の声がピタッと重なると「共鳴」して、振幅が増大します。

例えば、広い体育館で手の平サイズの小さなオルゴールを鳴らしても、音色はおろか、音さえも届きません。このオルゴールをピアノにそっと着けると、「えっ、うそでしょ」とつい言うくらい豊かに響きます。共鳴しているのです。共鳴とは、互いに響き合うという意味ですが、時にはピアノのようにそばにいてだけで相手を響かせてあげられる存在にもなりえます。

私たちは、友達や仲間がいて共鳴できます。自分と友達は、このオルゴールとピアノの関係のようなものです。仲間がいて相手も輝く、仲間がいて自分たちの音色が描けます。

半田中学校の合唱コンクールは、どのクラスも共鳴していました。

